

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公 告 方 法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。
定時株主総会	毎年6月開催		ただし事故その他やむを得ない事由によつて、電子公告により行うことができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
基 準 日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 3月31日、9月30日		
単 元 株 式 数	100株		
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部		
証券コード	4283		

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主さまは、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。
証券会社に口座を開設されていない株主さまは、以下の電話照会先にご連絡ください。

(株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社	(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(株主名簿管理人 事務取扱場所)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部	(電話照会先) (インターネットホームページ)	0120-176-417 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。

ホームページのご案内

当社の企業活動、商品などに関する情報は、ホームページでご覧いただけます。

<http://panasonic-denkois.co.jp/>

※第11回定時株主総会の様子も配信中です(平成21年9月22日まで)。

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

この冊子に関するお問い合わせ先

電話 06-6906-2801(代表)

※本誌に記載された社名および製品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。



第12期 第1四半期
株主通信

平成21年4月1日～平成21年6月30日

証券コード:4283



パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

時代のニーズをとらえ、着実に成長。

不透明な経済情勢下、合理化ソリューションの提案で高い評価を受ける一方、さらなる経営体質の強化にも取り組みました。



取締役社長 河村 雄良
Takeyoshi Kawamura

第1四半期(4月～6月)を振り返って

当第1四半期(平成21年4月～平成21年6月)におけるわが国経済は、景気の急激な悪化に歯止めがかかったものの、先行きは依然として不透明なまま推移し、情報サービス産業も企業の設備投資が抑制されるなか、IT投資に先送り傾向が示されるなど厳しい状態が続きました。

このような事業環境において当社グループは第12期の経営方針を「原点に立ち返る」とし、現場に強い当社の強みを活かした商品・サービスの提供に努める一方、合理化の徹底や人材育成などによる経営体質の強化に取り組んでおります。当第1四半期においては、景気の動向に左右されにくいシステム運用サービスを軸に、パナソニック電工株式会社向け基盤システム構築などの受託開発に取り組むとともに、パナソニック電工以外のお客さまに対しては、長年のシステム運用経験と「現場力」を活かし、運用統合・サーバ統合を積極的に提案いたしました。また、原価の見える化による外注コストの削減など、徹底した合理化を推進することで経営体質の改善にも努めてまいりました。このような取り組みに加え、今年2月にM・NES株式会社から事業を譲り受け、営業を開始したパナソニック電工ネットソリューションズ株式会社の売上も寄与し、当第1四半期は前年同期と比べ増収増益となりました。

「即効性」が鍵。「現場力」を活かした合理化を提案中。

当第1四半期の営業活動を通じ、厳しい経済情勢を背景に新規のIT投資を控える動きが見られる一方で、合理化・効率化のためのIT投資には積極的な企業姿勢が見て取れました。そのキーワードは「即効性」です。当社は昨年来、運用統合・サーバ統合案件などを中心に「合理化」「コスト削減」を切り口とした提案を行い、高い評価をいただいておりますが、これは、不況にあえぐ企業の「即効性のある合理化ソリューションがほしい」というニーズと当社の提案が合致したからだと考えております。現場をよく知り、現場に必要なノウハウを蓄積した当社だからこそできる「現場力」を活かした提案を今後も引き続き行ってまいります。第2四半期以降も当社をとりまく経営環境は厳しいものと予想されますが、以上のような取り組みに加え、品質マインドの醸成、SaaSやクラウド・コンピューティングなど新技術への取り組みも積極的に行うことで、さらなる飛躍の礎を築くべく、役員・社員一同邁進してまいります。

なお、第12期から株主通信を年4回お届けすることといたしました。今後、より積極的な情報提供に努めてまいります。株主の皆さんにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

第1四半期連結業績ハイライト

売上高 ↗

87億27百万円
(前年同期比 5.4%増)

営業利益 ↗

10億51百万円
(前年同期比 17.2%増)

経常利益 ↗

10億52百万円
(前年同期比 14.7%増)

当期純利益 ↗

6億32百万円
(前年同期比 14.5%増)

1株当たり当期純利益 ↗

59円36銭
(前年同期比 7円53銭増)

その出張は、やめられる!

～「ビデオ会議システム」活用のススメ～



新しいコミュニケーションの形を提案。

かつてない厳しい経営環境にある昨今、コスト削減策の一環として不要不急の出張を避けるなどの対策を打ち出す企業が増えています。確かに新幹線や飛行機の運賃、宿泊費などは、年間でかなりの金額になりますが、顔が見えない議論や打ち合わせでは不安になる場合もあるはずです。そこで当社が提案しているのは、タンバーグ社の「ビデオ会議システム」による新しいコミュニケーションの形。距離を感じさせない臨場感あふれるシステムを、自ら培った豊富な活用ノウハウとともにお届けしています。



システム

不安を解消する高い品質。

ビデオ会議システムに対し「画像・音声が不明瞭なのでは」「操作が難しいのでは」という不安をお持ちのお客さまもいらっしゃいます。当社が提案するビデオ会議システムは、こうした不安を即座に解消する高品質な画像と音声が特徴。操作も簡単です。

パナソニック電工ISがご提案するタンバーグ社

1 クリアに見える!「高精細画質」(十書画カメラ)

「名刺の文字まで見える」「相手の表情もはっきりわかる」と驚きの声があがるハイビジョン映像。さらに書画カメラがあれば被写体の色合い・風合いまで映し出します。

2 クリアに聞こえる!「ステレオ音声」

CD並みの音質を実現。声の微妙なニュアンスまで鮮明に伝わります。

3 PCデータも共有!「資料共有機能」

パソコンで作成したデータを高解像度で相手先へ。最新データをその場で共有し、会議をすすめることができます。

**他の追随を許さない
高い品質。だから、こんな
会議もビデオ会議で!**

**試作品の検討会議
色合い、風合いもわかる!**

※Weinhouse Research調べ、平成21年第1四半期売上実績

実績

試行錯誤を重ね培ったノウハウ。

当社は平成15年から社内会議にビデオ会議システムを導入し、出張旅費や移動時間の削減に大きな効果をあげています。ルール・目標の明確化や利用者にやさしい環境づくりに努めるなど、自ら現場で試行錯誤を重ね培ったノウハウが大きな強みとなっています。

のビデオ会議システムは、そんな不安を解消!

4 専用装置で簡単!「多拠点接続」

3ヶ所以上の多拠点接続も簡単。さらにビデオ会議システム売り上げ、台数とも世界No.1^{*}、グローバルに展開するタンバーグ社は海外接続も万全にサポート。他社製品との互換性も。

5 シンプルで使いやすい!「簡単操作」

ボタンの少ない簡単リモコン。画面操作も簡単で、ストレスを軽減します。

6 充実のメニューがそろう!「管理機能」

構成や会議予約管理を容易に実現。トラブル診断調査、レポート作成機能などほしい機能が充実。

予算策定会議

小さな文字もハッキリ!

在宅勤務者の会議参加

他社製品とも接続OK!

展開

豊富な実績を活かし、導入をサポート。

ビデオ会議システムの市場は、これまでにも年間10~20%の伸び率で順調に拡大してきましたが、平成21年度の伸び率は30%近くになると推定されています。当社が開催するビデオ会議システム活用セミナーも大変な人気であり、関心の高さがうかがえます。当社は今後も自らの豊富な経験に基づき、機種選定から導入後の利用頻度向上策までを包括したソリューション提案を行っていきます。



セミナーの様子

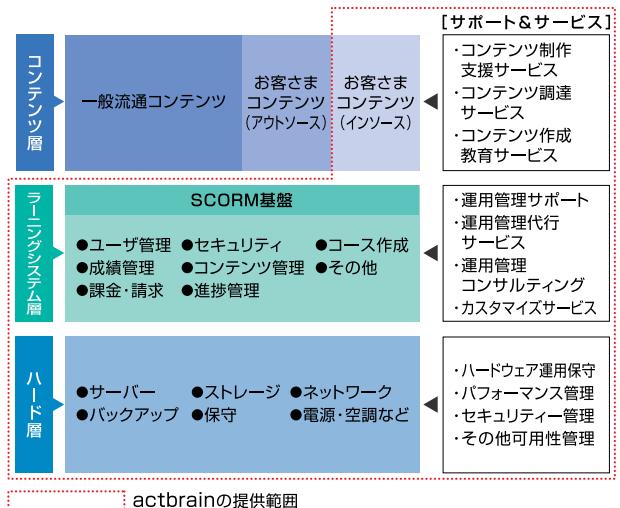
**パナソニック電工ISの
削減効果年間約2,000万円***

※平成20年度の出張費削減実績。

**01 eラーニングシステム「actbrain」
(アクトブレイン) 7月13日提供開始**

当社は、平成14年に提供を開始したeラーニングシステムをリニューアルし、名称を「actbrain（アクトブレイン）」として、7月13日から提供を開始いたしました。

当社のeラーニングシステムは、システム構築が不要なSaaS(サース)であることやID数に応じた柔軟で安価な課金体系、運営ノウハウも含めたコンサルティングなどが高く評価されており、このシステムによって作成・提供されたeラーニング講座の受講者数は延べ200万人に達しています。今回は導入企業や受講者の声を踏まえた改良により、さらに利便性を高めました。今後、コスト削減策の一環として集合研修からeラーニング研修に移行する企業への訴求を図っていきます。



02 「ASTERIA for Google Apps アダプタ」を開発

当社は、Google(グーグル)が提供するWebアプリケーションサービス、Google Appsと既存システムとのデータ連携を実現する「ASTERIA* for Google Appsアダプタ」を開発、第1弾として、7月1日からGoogleカレンダーと既存システムとの連携コンポーネントを発売しました。これにより、新規投資を抑えつつコスト削減や業務効率向上を図る企業のニーズにお応えしていきます。

*インフォテリア社が提供するEAIツール



03 統合ログ管理ソリューションを さらに強化

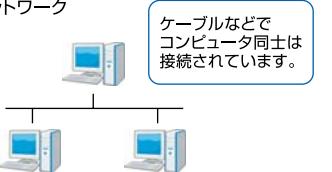
当社は、株式会社網屋のサーバアクセスログ監査ツールで国内トップクラスのシェアを有する「ALogコンバータ」と、RSA セキュリティ株式会社の統合ログ管理システム「RSA enVision」との接続モジュールの提供を開始しました。これにより、企業の情報セキュリティ対策に必須の統合ログ管理ソリューションをさらに強化していきます。



ネットワーク (コンピュータネットワーク)

複数のコンピュータをケーブルなどの通信回線で接続して、データのやり取りができるようにした形態のこと。これに対し、コンピュータ同士を接続しないで単体で利用することをスタンドアロンと言います。

- ### ●ネットワーク



- #### ●スタンドアロン



アウトソーシング

効率化やコアビジネスへの経営資源集中を目的として、自社業務の一部を外部の専門業者に委託すること。IT分野においては、システムの構築や運用・保守の外部委託を指します。

ログ

コンピュータの利用状況やデータ通信の記録を取ること、または、その記録のこと。操作やデータの送受信が行われた日時や操作内容、送受信されたデータの内容などが記録されます。

eラーニング

コンピュータネットワークなどを介して提供された教材により、パソコンを利用して学習する仕組み。時間や場所を問わないので、学生・社会人の生涯学習などのほか、企業の研修などにも活用されています。



EAI (Enterprise Application Integration)

企業の複数あるコンピュータシステムを連携させることにより、データやプロセスの統合を図ること、または、それを支援する一連の技術やソフトウェアの総称を言います。

クラウド・ コンピューティング

ネットワーク上に存在するサーバが提供するサービスを、それらのサーバ群を意識することなしに利用できる仕組み。自らハードウェアを揃える必要がなく、運用コストの削減にも効果があるとして注目されています。

